

# リーダーシップ教育普及元年 —大学教育イントラプレナーシップ—

SPOD

8/25/2016

早稲田大学 大学総合研究センター教授

日向野幹也

# agenda

- 立教大学経営学部BLPの11年間の成果
- 成果をもたらした教育
  - 手法としてのアクティブ・ラーニング
  - 目標としてのリーダーシップ
  - 組織内起業
- 科目構成とミーティング風景の動画
- 学生と卒業生の談話

# 立教大学経営学部の11年の成果 (2006-2016年度)

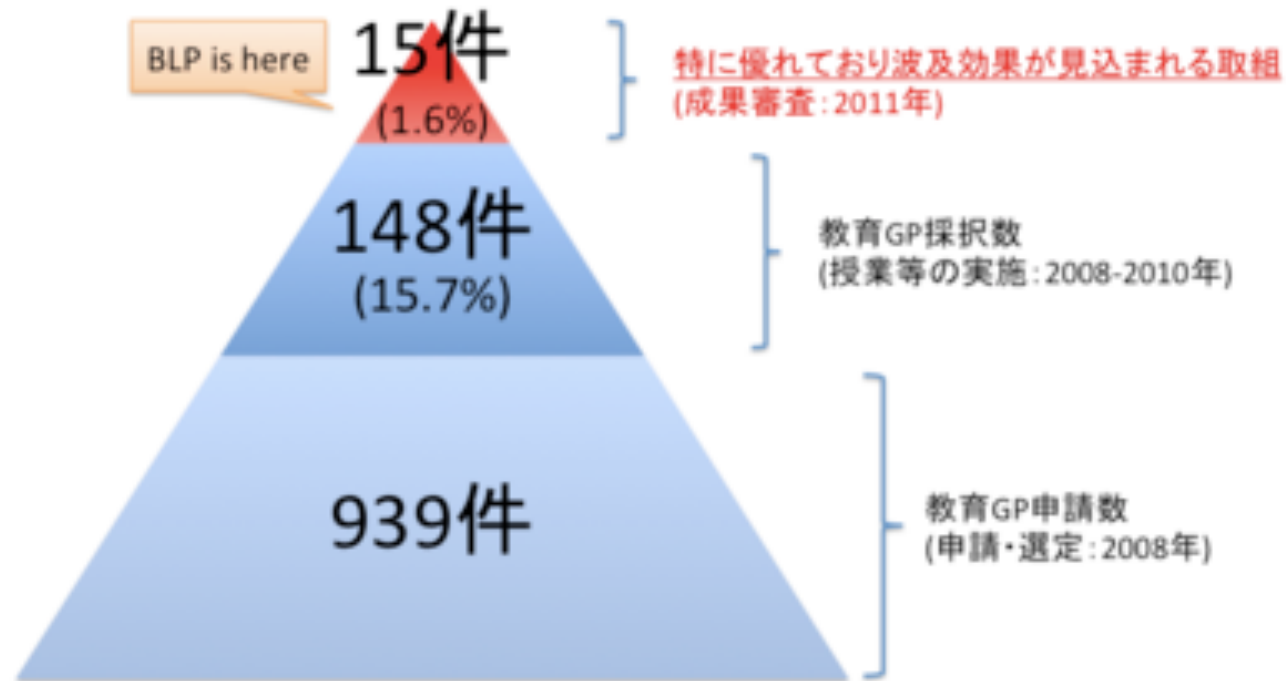
- 数量的成果
  - 偏差値
  - 学部教育への満足度
  - 学生部の生活アンケート
  - 中退率
  - 就職状況
  - OBOG会による教育効果測定(後述)

# 質的成果

- 学生が教員に提案する習慣
  - 教員+SA会議からのイノベーション
  - 大半の専門ゼミのアクティブ・ラーニング化
- 学生同士がフィードバックしあう習慣
  - 内向的な学生でも居場所がある
- 顕彰
  - 教育GP(2008-10)の成果審査で全国トップ15
  - 世界アクション・ラーニング機構のアカデミック部門年間賞(2015年)

# 教育GP

## 教育GPの採択状況(全国の大学)



※パーセンテージは申請数に対する割合です。

# 質的成果(続き)

- 全学対象プログラムGLPも2013年度から開催
  - 履修するだけで当初3倍の倍率、現在でも2.2倍
- 職員研修、体育会部員研修にも拡大
- **リーダーシップ教育の普及元年**
  - 他大学にも波及
    - 早稲田大学、國學院大學、淑徳大学など(ほかにも数大学準備中—文科省AP申請など)
  - 東京都立高校の新設必修科目「人間と社会」にBLP/GLPで使用しているリーダーシップ最小3要素が掲載される

# (リーダーシップに関する注)

- 権限・役職・カリスマ性と関係のないリーダーシップ
  - リーダーシップ最小3行動
    - 目標共有・率先垂範・同僚支援
- 「船頭多くして」は真のリーダーシップが不足している船頭の話
- 教育により習得可能
- 日本の外ではこれが主流、日本でも企業ではこのリーダーシップへのニーズ増大中





# 成果をもたらした教育の特徴(1)

- 徹底したアクティブ・ラーニングと経験学習
  - 2010年にアクティブ・ラーニングの考え方を知ったが、それ以前から実施(当初からグループでのPBL)
  - 高校生・受験生が、学習目標と同じかそれ以上に学習方法に敏感

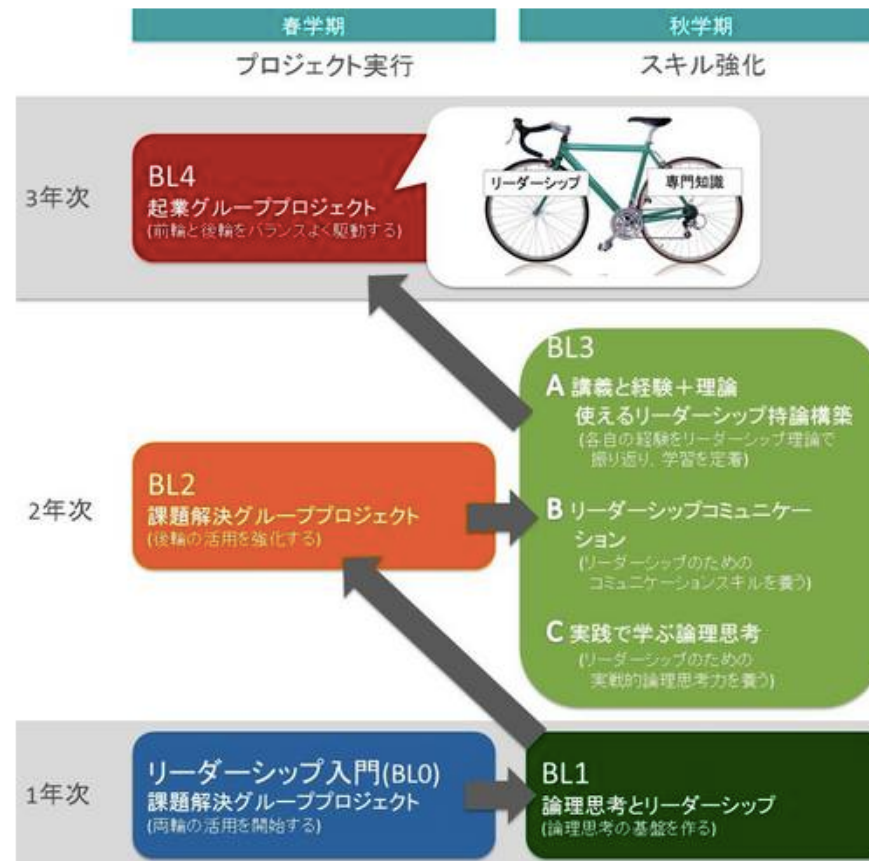
## (2)学習目標としてのリーダーシップ

- 当初、主に企業からのニーズ(就活)を意識
- のちにライフスキルとして、在学中からも役立つものという位置づけ
- 実はアクティブ・ラーニングの基礎でもある
  - アクティブ・ラーニングとは「学生のリーダーシップを引き出す授業」のこと!

## (3)教員のイントラプレナーシップ (組織内起業)

- 立教大学での事例
  - 知らずにアクティブ・ラーニング、ハイインパクトな初年次教育など
  - SA制度の新しい活用方法
  - 基礎演習・ウェルカムキャンプの組入れ
- 大学側は組織内起業家として処遇すべし
  - 初期の試行錯誤を許容
  - 成功したら優先的にリソースを重点配分
    - そうしないと転出リスクのある時代

# 経営学部BLP科目構成



# GLP科目構成



# 映像1:教員SAミーティング風景

- [教員SAミーティング](#) (01:36から)

# 早稲田大学でのミッション

- 立教での取組を参考に早稲田にカスタマイズしたリーダーシップ教育を行う
  - 伝統的に「危機や逆境に強い」と言われてきた早稲田OBOGは、なぜ輩出されたのか解明(それが減ってきたという危機感)
  - 教室外で涵養されてきたらしいそうしたリーダーシップを教室で涵養できないか?

# 参考文献

- 日向野、『大学教育アントレプレナーシップ』、ナカニシヤ出版、2013.
- 日向野、「新しいリーダーシップ教育とディープ・アクティブ・ラーニング」、松下佳代編著『ディープ・アクティブ・ラーニング』、勁草書房、2014.
- 日向野、『十代からのリーダーシップ』、近刊



# 学生の実験談

- 磯野真那さん
- 経営学部経営学科2年生
- 今年度春学期にBLOのSAを経験

# 卒業生の談話

- 松岡洋佑君
  - 経営学部2期生
  - 在学中に起業
  - 大学へのリーダーシップ教育導入支援（早稲田大学、國學院大學、淑徳大学ほか）
  - 経営学部OBOG会Alumni会長

# OBOG会による教育効果測定

- 立教大学初の、学部単位のOBOG会
- 1,2期生の提案にて発足
- 若手校友の積極的な参加(学院における課題)
- 卒業生の学部と連携した追跡調査
- 卒業生に対するキャリアサポート(ALP)と卒業生による在校生のためのキャリア・サポート(アクティブトランジション:BLPコースリーダー 舘野泰一)
- 卒業後の社会における評価を教育へ反映(OBOG会役員による外部評価)の提案